

# 調査ニュース

## 目 次

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ボタンガストーチバーナーの不具合による火災について…………… | 290 |
|--------------------------------|-----|

※ 調査ニュースは、平成 26 年中に調査課から通知したものであり、調査課で行った実験についてまとめてあります。火災予防上の資料としてご活用下さい。

なお、調査ニュースの中のデータについては、通知日時点の内容を掲載しています。

## ブタンガストーチバーナーの不具合による火災について

### 1 はじめに

ブタンガストーチバーナー（以下「トーチバーナー」という。）は、飲食店の厨房において食材の表面を炙るなど、調理で使用されることが多く見られるようになりました。このトーチバーナーは、カセットボンベや専用のネジ式燃料容器をバーナーに接続して使用するもので、簡単に食品の焼き目を付けることができます。

トーチバーナーの製造時における不具合によりリコール・社告された製品から出火する火災が発生したことから概要をまとめました。

### 2 社告内容

#### (1) 社告対象製品について

社告された製品は、岩谷産業株式会社が販売した調理用のカセットボンベ式トーチバーナーです。一部の製品に製造上の不具合があり、使用中にやけどや火災に至る可能性があることが判明したため、回収交換されることとなったものです。平成26年12月11日に社告となり、新聞各社、ホームページに告知文が掲載されました。

対象製品：イワタニお料理バーナープロⅢ

品番：CB-TC-CPRO3

対象ロット番号：131111・131211・140221・140702

製造期間：平成25年11月から平成26年9月まで

販売期間：平成25年12月から平成26年12月まで

つまみの色：薄紫



#### (2) 機器の不具合内容について

##### ア 不具合内容について

カセットボンベ（以下「ボンベ」という。）とバーナー本体を接続する部位で、バーナー本体側にあるボンベ接続部の取付ビス（以下「ビス」という。）の締め付けが不十分であるため、ボンベを接続した際にガス漏れが発生するものです（写真1、図1、2参照）。

##### イ 不具合の発生について

当該ビスは、製造ラインにおいて、機械により規定トルク値で締め付けられています。

全数検査の段階で不良品として扱われた製品については、再度組替えて合格品としますが、この際当該ビスの締め付けにおいてトルク管理を怠ったため、不良品が発生したものです。

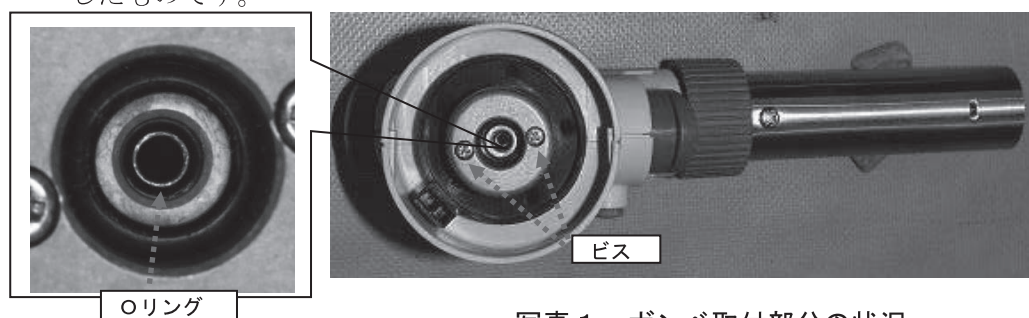


写真1 ボンベ取付部分の状況

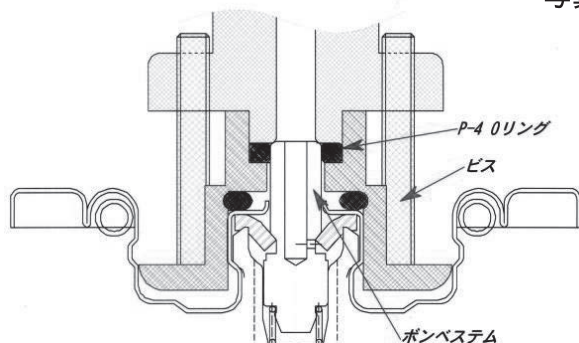


図1 正常な状態

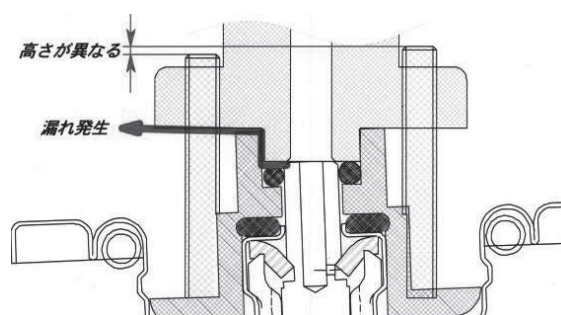
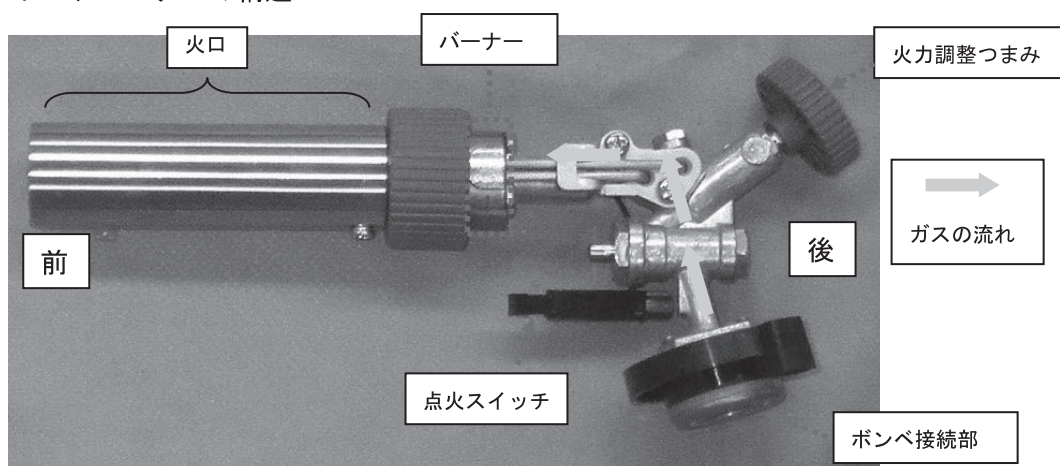


図2 ビスが緩んでいる状態

### 3 留意事項

本不具合のある製品を使用した場合、使用者の手元付近から炎があがるため、使用者が受傷したり、驚いてトーチバーナーを離すことにより周囲の可燃物に着火する恐れがあります。さらにそのまま放置した場合、ボンベが破裂し、漏えいしたガスに引火する可能性もあります。

### 4 トーチバーナーの構造



## 火災事例

### 事例1 ハンバーガー店で調理中に出火した火災

- (1) 発生年月 平成26年6月
- (2) 用途等 耐火造20/4  
複合用途地下2階飲食店
- (3) 火災発生時の状況

従業員は、厨房のグリル上でトーチバーナーを用いてハンバーガー用のハンバーグとチーズを炙っていると、突然、炎が立ち上がったため、持っていたトーチバーナーを放り投げました（写真2参照）。

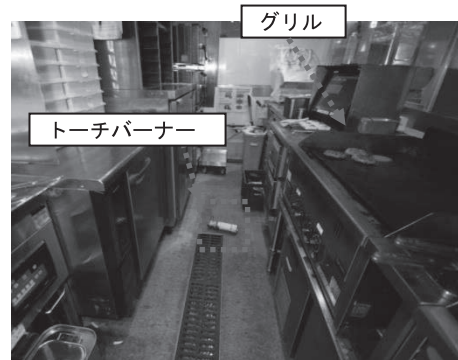


写真2 出火時の状況

- (4) 本体外観の見分状況

トーチバーナーは火口側を前方、火力調整つまみ側を後方とする。

厨房の床面に落ちたトーチバーナーは、バーナー部後方の一部が破損しています（写真3参照）。

バーナー部は、点火レバーと火力調整つまみが溶融しています（写真4参照）。

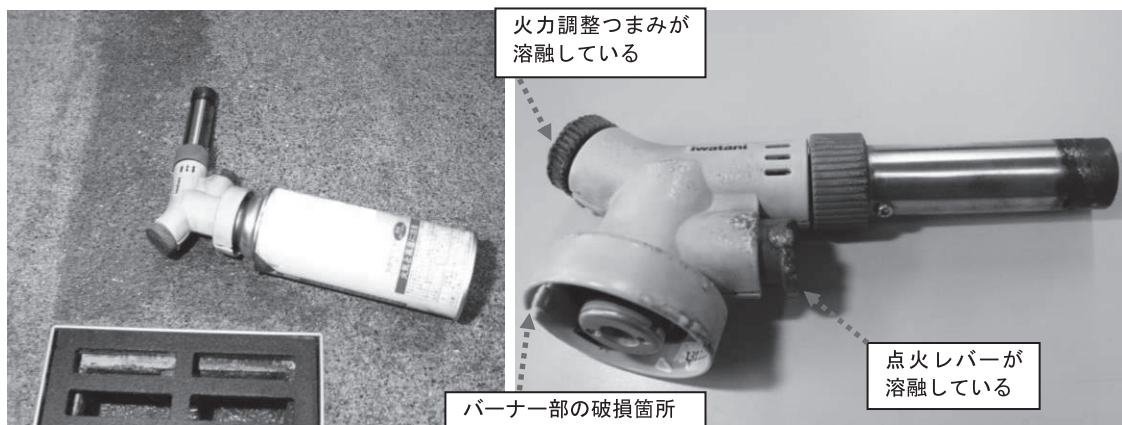


写真3 トーチバーナーの状況

写真4 バーナー部の状況

### 事例2 パンケーキ店で調理中に出火した火災

- (1) 発生年月 平成26年11月
- (2) 用途等 耐火造9/1 複合用途4階飲食店
- (3) 火災発生時の状況

従業員は、厨房のグリル上でトーチバーナーを用いてパンケーキを炙っていました。パンケーキに焼き目が付いたので、作業を終わろうとしたところ、ボンベとバーナー部の接続部付近から炎が立ち上がったため、トーチバーナーから手を離しました。

- (4) 本体外観の見分状況

バーナー部はボンベとの接続部分及び点火レバーが溶融しており、前方側は一部焼損しています（写真5、6参照）。



写真5 トーチバーナーの状況1



写真6 トーチバーナーの状況2

#### (5) 鑑識見分状況

ア バーナー部とポンベを接続すると、ガス漏れが確認できます（写真7参照）。

イ バーナー部を分解すると、焼損品は内部の前方側に変色が見られ、後方側には破損が見られます（写真8参照）。

ポンベ接続部を見ると、上方に飛び出ているビスの出幅が同型品は同じであるのに対し、焼損品は片側の出幅が短くなっています（写真9、10参照）。

ウ ポンベシステムの先端と接触するOリングの状態を確認すると、亀裂等の異常は見られません。

エ 焼損品を再度組み直し、ポンベ接続部のビスを同様の出幅になるまで締め込みポンベを接続すると、ガス漏れはなくなりました。



写真7 ガス漏れ確認

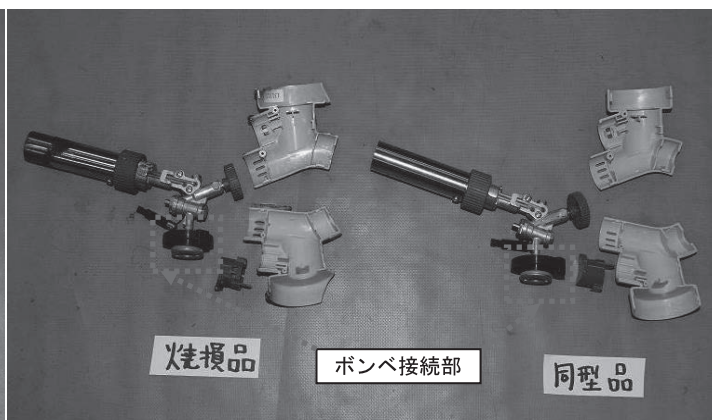


写真8 バーナー部を分解した状況

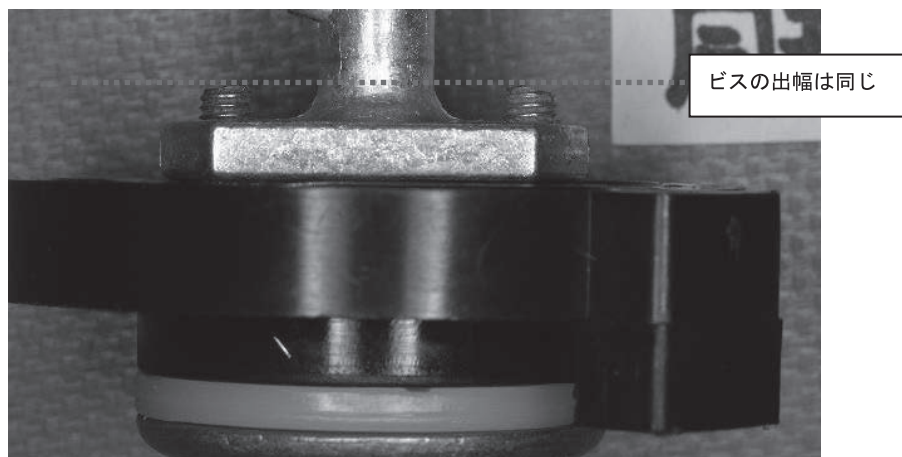


写真 9 ポンベ接続部の状況（同型品）

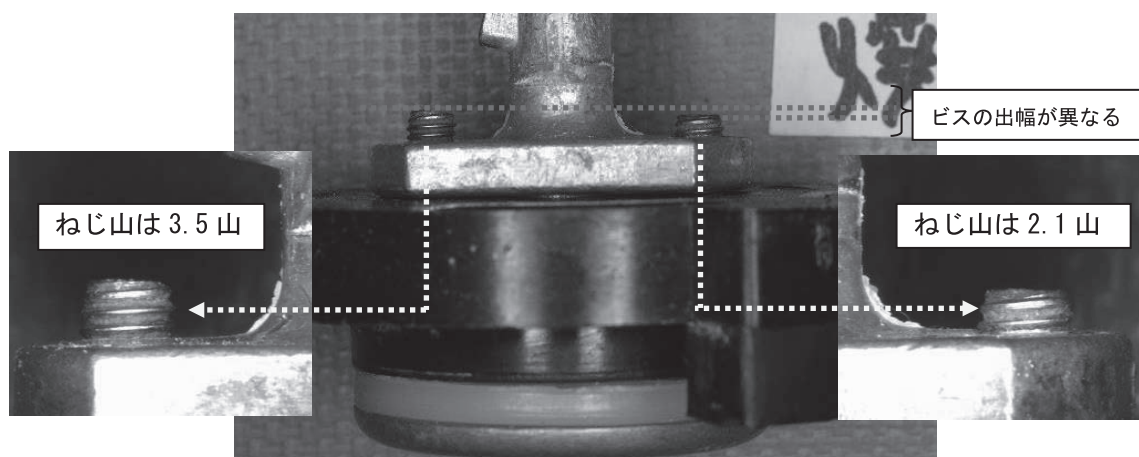


写真 10 ポンベ接続部の状況（焼損品）